

「日本が誇る水道水」
東京都国分寺市立第四中学校

二年C組

加藤 麗奈

外国の方が聞いていた。「この水は飲んで
も大丈夫か。」それは飲食店で無料で提供さ
れた水道水のことだった。幼かった私は不思議
に思った。「飲めるに決まってるではない
か。」この感情が生まれたのは、蛇口をひ
ねれば美味しい安全な水がいくだけでも飲める
のが当然、普通だと思っていたからだ。けれ
ど、これが普通ではないと気付かされた。四
年前にタイに訪れた時のことだった。
あの時、私は喉が渴いていて何も考えずに
蛇口をひねり水を飲んだ。だが、急に気持ち
悪くなり嘔吐した。お腹もこれまで感じたこ
とがないほど痛くなり病院へ搬送された。医
者に「何か口にしました物はありますかと尋ねられた。
私は「水道水を飲んだ。」と伝えた。医者や
両親は「外国の水道水は、日本ほど安全い
やないから絶対に飲んではいけないうの。日本

の水道水が特別で、外国のほとんどがタイの
ように飲んではいけません。と言った。
私は点滴を打たれながら、とても驚いた。
そして、今までの、かり忘れていた飲食店で
外国の方が、この水は飲んで大丈夫か。
と聞いていたのを思い出した。そりいうこ
とだったんだ。と思わず口から漏れた。
日本に帰国した後、恐る恐る水道水を口に
含んだ。タイの水道水のうな何とも言えな
い生臭さ、苦みは一切なかった。いっその
味だ。美味しい。なんだがホッとした気が
する。

私はその日の晩、ふと思った。医者や両親
は、日本の水道水が特別だ。と言っていた
たが、どう特別なのかと。私はすぐに調べた。
すると驚きの事がとてたくさんあった。
まず驚かされたのが、世界でたった15ヶ国
しか安全な水道水を飲むことができないとい
うことだ。私は今まで、蛇口をひねれば美味
しい安全な水がいくらでも飲め、飲食店では

大抵の店では無料で水を提供する。手や顔、
体を洗えて歯をみがくことができるのが当然、
普通だと感じていた。大きな間違いだった。
蛇口をひねれば、美味しい水が出てくるので
その簡単さゆえ一度も考えたことがなかった。
一方世界には、7億人の人々が安全な水を
得ることができず、毎日遠く離れた汚い川や
池などで水を汲んでいる。しかし、その水は
不衛生で、毎日800人、年間3000万人の子ども
達が短い生涯を終える。

世界の厳しい現状を知って私は、一つ疑問
を覚えた。それは「なぜ日本の水道水は飲め
るほど安全で美味しいのか。」「そもそも水道
水は川の水や雨水だ。さすがにそのままでは
飲めない。浄水場で洗殿、ろ過、消毒などの
工程をする。これだけでは終了しない。東京
都では更に「高度浄水処理」という生物活性
炭を使った最新の方法がされており、より安
全に美味しい水道水が私達の家庭に届けられ
ているのだ。

水不足の地域では女性や子どもが遠くまで水を汲みに行く。重い水を持ちながら往復、八時間ほどかかる。そして、八時間かけて汲みに行ったら水で命を落としているのだ。私達には蛇口をひねるだけで安全で美味しい水が飲めると言うのに。

この現状を改善するためにはどうしたら良いのだろうか。私は、99%の人が節水を心がけることも大切だと思いが、やはり日本の優れた素晴らしい技術を發揮するべきではないかと思う。水路を一つ造るだけでなく、何人もの命が救えるのかを考えると造るべきだと強く思う。また今まで遠くへ汚い水を汲みに行っていた手間が省け、例えば子どもなら学校へ通うことなどに活用できるのではないか。

私は、毎日当然のように水道水が使え、恵まれた生活ができることに感謝し、一日でも早く不衛生な水のために七くなる方がいなくなることを願っている。